



まちかど ま インタビュー

新たな生活環境で新年を迎えた感想は 広野原団地への入居始まる

復興のはずみとなる広野町災害公営住宅「広野原団地」が下浅見川字桜田内に完成しました。住宅は鉄骨2階建て集合住宅4棟38戸と、木造2階建て住宅10戸です。古代人も生活したであろうこの場所での新たな生活の始まりに期待や不安など感想をお聞きました。



きくま みゆき
くま 久正さん 幸さん
つぼ い
坪井

さらにバリアフリーになつており夫婦共に将来に不安はありません。地域の皆さんと新たな人生を歩んでいきます。

広野原団地の集合住宅に入居でき、新たな住宅で正月を迎えられたことは感無量であります。
カレンダー等を掛ける所が欲しいなど小さな要望はありますが、立場所が良く二重ガラスで暖かく電車の音も聞こえません。



広野原団地全景



しまだ ゆきのぶ しょうこ
島田 幸信さん 庄子さん

東日本大震災で2階建の自宅は大津波の直撃を受け一瞬にして全てを失い、家族の命だけが救われました。

その後、復興が進展せず先が見えないことによる不安やストレスから孤立を感じていました。

しかし、この度、広野原団地に入居できて顔見知りの皆さんと挨拶や、娘や孫と将来の話が出来ることに感謝しています。

今年は明るい気持ちで頑張ります。

編集後記

明けましておめでとうございます。平成27年の初日の出を拝んだ。私的な願いは胸に納め、町の復興とこの一年の平穏であることを祈り新年を迎えた。

昨年は町の復興に向けた取り組みが具体的に見える事業が多く着手し、提示された年であつたと思ふ。

防潮堤、浜街道、駅東側開発、中高一貫校建設に向けた造成、役場前商業施設、防災拠点 道の駅ひろのとの事業主体の差異はあれ今日の町の姿を大きく変える取り組みであり、町民のニーズに添ったものであると思います。今年には町民「憩」の場としての二ツ沼公園が全面再オープンとなります。以前の様な賑わいになるよう努力していきたい。

(渡邊 正俊)

発行・編集責任者

議長 鈴木紀昭

広報委員会

委員長 渡邊正俊
副委員長 北郷幹夫
委員 塩 史子
委員 渡辺久長
委員 門馬 巧
委員 畑中 大子
委員 小磯利雄

次の定例会は3月です